

平成 28 年 8 月 31 日

横浜市金沢区長 國原 章弘 様

横浜市金沢区地区センター指定管理者選定委員会
委員長 江頭 幸代

横浜市金沢区地区センター指定管理者選定委員会の選定結果について（報告）

標記結果について、平成 24 年 3 月 22 日金地振第 1582 号「横浜市金沢区地区センター指定管理者選定委員会運営要綱」第 10 条に基づき、別紙のとおり報告します。

「横浜市金沢区地区センター指定管理者選定委員会 選定結果報告書」

横浜市金沢区地区センター

指定管理者選定委員会

選定結果報告書

平成 28 年 8 月

1 経緯

横浜市並木コミュニティハウスの第2期指定管理者の選定にあたり、横浜市金沢区地区センター指定管理者選定委員会（以下、「選定委員会」という。）は、応募者から提出された応募書類の内容審査や公開プレゼンテーションを行いました。

このたび、審査が終了し、指定候補者を選定いたしましたので、ここに選定結果を報告します。

2 選定委員会 委員

委員長	江頭 幸代	(関東学院大学 経済学部経営学科 准教授)
委員	岸 京子	(税理士)
	高麗 宣二	(金沢区スポーツ推進委員連絡協議会 前会長)
	小林 利彦	(金沢区青少年指導員協議会 会長)
	深津 米男	(NPO法人 横浜金沢文化協会 事務局長)

3 指定候補者 選定の経過

経過項目	日程
◆第1回選定委員会（傍聴人2名） 1 委員会の公開について 2 公募要項及び仕様書、特記仕様書について 3 選定スケジュールについて 4 評価基準項目について	平成28年5月19日（木）
公募書類の配布（ホームページにて公表）	平成28年5月26日（木） ～7月15日（金）
現地見学会兼公募説明会（申込3団体、6名） ※ 申込は、平成28年6月1日（水）正午まで	平成28年6月2日（木）
公募に関する質問受付（質問なし）	平成28年6月3日（金） ～6月10日（金）
公募に関する質問回答	質問なしのため回答なし
応募書類の提出（1団体）	平成28年7月14日（木） ～15日（金）
◆第2回選定委員会 1 応募団体の面接審査（傍聴人2名） 2 指定候補者の選定審議	平成28年8月19日（金）

◆は選定委員会

4 選定にあたっての考え方

選定委員会では、あらかじめ定めた「指定管理者選定の評価基準」に従って、応募者から提出された応募書類を審査し、指定候補者を選定しました。

選定にあたっては、応募書類の内容審査及び公開プレゼンテーション（発表及び質疑）を行いました。

なお、評価は、各委員が150点満点で採点した上で、その合計点を委員会の点数とし、合計点の最も高い団体を指定候補者、次に高い団体を次点候補者とししました。また、既存指定管理者の実績評価として、各委員が加減5点をもって評価に加える事ができるとし、市内中小企業等の参入にあたっては5点の加点を実施することとしました。

また、応募団体が1団体のみの場合であっても選定委員会の定める基準に満たないときは指定候補者として選定されないこととし、最低基準を各委員の合計点の6割以上としました。

評価基準項目		
1 基本条件の理解度 (10点)	1-1	・「施設の設置目的」や「区役所の施策上の施設の位置付け」及び施設内容、機能等を適切に理解し、これを踏まえた管理運営の提案がなされているか。
	1-2	・「地域特性」を適切に理解し、地域ニーズを踏まえて、地域コミュニティの醸成や地域の連携に繋がる管理運営の提案がなされているか。
2 公平性 (10点)	2-1	・全ての利用者に対して公平な利用機会の提供が可能となっているか。
3 安定性・安全性 (25点)	3-1	・安定的な管理運営を継続できる職員体制が取られているか。
	3-2	・個人情報保護その他の法令遵守体制について明確に示され、職員の業務習熟、資質向上のための研修が十分に行われる計画となっているか。
	3-3	・市(区)防災計画を踏まえ、公の施設としての役割を果たす計画となっているか。 ・地域と連携した日常的な防災への取組がなされているか。
	3-4	・施設設備の故障、事故、犯罪等を未然に防ぐ管理運営体制が取られ、緊急時の対応や危機管理の対応が具体的に計画されているか。
	3-5	・安全かつ安定した施設の維持管理計画、施設の長寿命化に貢献する修繕計画となっているか。
4 運営の実施効果 (15点)	4-1	・地域コミュニティの醸成や地域の連携を促進させる具体的な取組などが提案され、地区センターの基本理念を効果的に達成する運営計画となっているか。
	4-2	・利用者数、施設稼働率の向上に対し、有効な対策が示されているか。
5 利用者ニーズの把握、利用者サービス向上の取組 (20点)	5-1	・利用者ニーズを捉えるための有効な手法が示され、施設運営に反映させる仕組みが具体的に提案されているか。
	5-2	・利用者サービスを向上する取組について、具体的かつ現実的な提案がなされているか。
6 効果的な自主事業展開 (20点)	6-1	・地区センター自主事業の趣旨に沿った計画となっており、地域住民の自主的活動や相互交流の促進が具体的に見込める提案内容となっているか。
	6-2	・内容が多岐に渡り、幅広い層の住民が参加できる計画となっているか。
	6-3	・各関係機関と連携するなど、質の高い事業を行う工夫が行われているか。
	6-4	・地域住民が参加しやすい参加費設定を基本としているか。

7 効率性 (25点)	7-1	・施設の維持管理計画に効率化の工夫が見られるか。
	7-2	・収支計画は適切か。
	7-3	・利用料金の増収や運営の効率化等により、指定管理料の削減に繋がっているか。
8 積極性、意欲 (10点)	8-1	・本業務に取り組む姿勢や提案内容に強い意欲、積極性が見られるか。
	8-2	・本市の重要施策の実現に向けて、積極的に取り組んでいるか。
9 団体の資質・実績 (15点)	9-1	・団体の経営状況、社内体制、業務実績が本業務遂行上問題の無いものであるか。
	9-2	(現指定管理者が応募した場合) ・区の業務点検による評価や第三者評価の結果等が優秀であり、要求水準を上回っていたか。 ・選定時に評価された特筆すべき提案を達成したか。
	9-3	・応募団体は、市内中小企業又は地域住民を主体とした施設の管理運営等のために、地域住民を中心に設立された団体か。

(配点合計 150 点)

5 応募者の制限の確認

公募要項に定める「応募者の資格」「欠格事項」「応募者の失格」について、該当のないことを確認しました。

【公募要項 3 ページ 8 応募に関する事項について】

(1) 応募者の資格

指定期間中、安全円滑に対象施設を管理運営できる法人その他の団体（複数の団体が共同する共同事業体を含む。）とします。個人での申請はできません。

(2) 欠格事項

次に該当する団体は、応募することができません。

ア 地方自治法施行令第167条の4の規定により本市における入札の参加資格を制限されていること

イ 法人税、法人市民税、消費税及び地方消費税等の租税を滞納していること

ウ 労働保険（雇用保険・労災保険）及び社会保険（健康保険・厚生年金保険）への加入の必要があるにも関わらず、その手続きを行っていないもの。

エ 会社更生法・民事再生法による更生・再生手続中であること

オ 当該指定管理者の選定を行う選定委員が、応募しようとする団体の経営又は運営に直接関与していること

カ 暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団をいう。）又は暴力団経営支配法人等（横浜市暴力団排除条例（平成23年12月横浜市条例第51号）第2条第5号に規定する暴力団経営支配法人等をいう。）であること

※本事項について、横浜市が神奈川県警察本部に対し調査・照会を行うため、別添の「役員等氏名一覧表」を提出してください。

キ 指定管理者の責に帰すべき事由により、2年以内に指定の取消を受けたものであること

ク 2年以内に労働基準監督署から是正勧告を受けていること（仮に受けている場合には、必要な措置の実施について労働基準監督署に報告済みでないこと）

※共同事業体の場合には、構成するすべての団体が前記の欠格事項に該当しないととも、

応募時に、「共同事業体の結成に関する申請書（様式12）」を提出することとします。また、選定後協定締結までに、代表団体及び責任分担を明確に定めた組合契約を締結し、組合契約書の写しを提出することとします。

(6) 留意事項

オ 応募者の失格

応募者が次の事項に該当した場合は、失格となることがあります。

- ① ア～エの禁止事項に該当するなど、公募要項に定める手続を遵守しない場合
- ② 応募書類に虚偽の内容を故意に記載した場合

6 応募団体（1団体）

- (1) 特定非営利活動法人金沢区民協働支援協会

7 選定結果

選定委員会において厳正な審査を行った結果、次の団体を指定候補者と決定しました。

順位	団体名
指定候補者	特定非営利活動法人金沢区民協働支援協会

* 得点

選定の評価基準	配点	各委員素点					合計点
		A	B	C	D	E	
1 基本条件の理解度	50点	8	8	6	8	8	38点
2 公平性	50点	6	8	6	6	6	32点
3 安定性・安全性	125点	17	20	17	17	18	89点
4 運営の実施効果	75点	12	11	12	12	12	59点
5 利用者ニーズの把握、利用者サービス向上の取組	100点	12	14	14	14	14	68点
6 効果的な自主事業展開	100点	14	15	15	14	13	71点
7 効率性	125点	18	17	15	15	16	81点
8 積極性、意欲	50点	7	8	7	7	6	35点
9 団体の資質・実績	75点	10	13	12	12	13	60点
合計	750点	104点	114点	104点	105点	106点	533点

8 審査講評

(1) 指定候補者（特定非営利活動法人金沢区民協働支援協会）

応募は現指定管理者である特定非営利活動法人金沢区民協働支援協会の1団体でした。第1期の運営実績を評価されたことと、金沢区による業務点検の評価が高かったこともあり、第2期の運営も問題なしとの判断がされました。

緊急時の津波避難マップについては迅速に作成し、利用者に対して周知を図ってほしいといった意見は出ましたが、自主事業の充実や横浜市立大学、関東学院大学とのコラボレーションなど、積極性・意欲を感じられました。

第2期についても並木コミュニティハウスの特色である隣接した病院との更なる連携を図り、これまでの経験やノウハウを活かしながら施設の特性をより一層活かした運営を期待します。